

森を再生する会会報

第4号
2003.12.24

流域住民で作る水源の森づくり

～人生を夢とロマンに懸ける人々の集まり～

イオン環境財団より助成決定！

イオン環境財団よりNPO森を再生する会に150万円の助成をいただくことになりました。申請書類には、生態学者の宮脇昭先生、小谷野錦子先生からご推薦をいただきました。宮脇先生からは、市民が主役のこの運動が、森を再生する起爆剤になるであろうと励ましの手紙をいただきました。

このイオン環境財団助成事業のフィールドは、設楽町にお住まいの斎藤和彦さんの山1.5町歩をお借りすることになりました。斎藤和彦さんは、これまでも自分の山を針葉樹から広葉樹の山に切り替え「水源の森・緑のダム」をつくるために活動しておられます。

この活動を通して、流域住民が交流し、つながりを深めていけたらと願っています。これから、多くの人の参加を呼びかけていきたいと思います。(現在会員数83名)

NPO法人格取得！

8月29日、設立総会での決定に従い、9月13日には愛知県に認証の申請をしました。12月3日付けで愛知県知事から認証が届きましたので、12月15日に、名古屋法務局西尾支局で法人登記の手続きを完了しました。

予定したよりも早く、法人格を取得できたこと、大変うれしく思います。皆様のご協力に感謝いたします。

本物の苗を育てる

安城西中学校の生徒が、設楽町の山でドングリを拾い、学校で苗木を育てています。エコロジーの脚本に従って、土地本来の木を植える(植生)計画で、2年後には、この苗を設楽町の山に植える予定です。

土地本来の木はどうして分かるのでしょうか？鎮守の森が土地本来の木を育ててきました。昔から、樹木には、神が宿ると信じてきた祖先たちは、神社の木はむやみには切りませんでした。その結果、鎮守の森が、植生を教えてくれるのです。

現在、経済性や効率性で苗づくりをする技術がありますが、エコロジーから考えると問題です。本物を作るには、手間・暇がかかります。偽者と本物、生きた材料と死んだ材料を見分ける目が失われています。(詳しくは、宮脇昭著「鎮守の森」をご覧ください。)



鎮守の森を世界へ

土地本来の木の底力のすごさを、去る11月23日、午後11時から名古屋テレビの「素敵な宇宙船地球号」で放映していました。阪神淡路大震災や山形県の大火事で町を救ったのは大きな木でした。土地本来の木のすごさの実例です。土地本来の木は鎮守の森に見られます。町や山をもう一度土地本来の木を植えて、自然と共に生きることが大切です。

どなたか録画した方ありませんか？会員の方に紹介したいと思いますので。

自然賛歌の詩を募集中！

人間は、自然なくしては生きられません。ところが、欲の間違いで、自然がどんどん破壊されています。ウミヤマネコやマングローブなど自然豊かな西表島にもいつの間にかリゾートホテルが建設されました。開発という名の破壊が進みます。便利だからと人が大勢行けばそれも自然が壊れる大きな要因。

自然賛歌の詩を募集しています。まの あけみさんに曲をつけてもらい、コンサートを開こうではありませんか？

山の仕事しませんか？

参加者募集！

今後間伐や、植林を進めるには実際山の仕事をやってみたいという人が必要です。山で汗をかきながら、木が倒れる時の爽快感は格別です。日頃の勤めの苦勞を忘れる瞬間でもあります。いいことしているときは、幸せです。伐採、植樹、下刈りは「行事のお知らせ」の日程で行います。参加される方は、事務局までお知らせください。(0563-54-1018・榊原事務局長)

会員はもとより、会員以外の方にも大勢参加してもらえよう呼びかけをお願いします。

行事のお知らせ

NPO森を再生する会総会 平成16年4月22日(日)

- ・ 植樹：4月4日(日)
6月5日(土)
6月12日(土)
9月26日(日)
10月23日(土)

- ・ 間伐：毎月第4日曜日
(1/25,2/22,3/28,4/25,5/23,6/27,7/25,8/22,
9/26,10/24)
- ・ 下刈り：6月27日(日)
7月25日(日)
8月22日(日)

イオン環境財団

水源の森（緑のダム）づくり

平成15年12月1日から平成16年10月31までの期間で、イオン環境財団からの助成を受け、段戸斎藤和彦さんの山をフィールドにした「水源の森（緑のダム）づくり」では、どのような森をつくろうとしているか、簡単に紹介します。

皆伐する

現在山に生えている針葉樹（スギ）を皆伐します。

材としてのスギの価値が見込めないので、広葉樹に林層転換するために、すべてのスギを伐採します。本年度は、2000平方メートル（2反歩）を予定します。

植樹する

土地本来の木（植生）を選び、混植・密植します。

本来の自然の姿は多様性です。単一化は人間の都合で作られたものです。土地本来の木をできるだけ多くの種類植えることがエコロジーの脚本。多少窮屈で競争することにより、強いものが生き残って健全さが保たれます。本年度は、コナラ、ミズナラ、ブナなど20種類、2000本を植えます。

下刈り

2～3年間下刈りします。（刈り取った草は、木の根元を覆う。）

植樹した後は、2～3年間、草との競争になります。植樹した木が負けないように、下草を刈り、植樹した木の根元に敷きます。乾燥を防ぎ、腐食して栄養分になり、生態系豊かな土をつくるのに役立ちます。

生態系を蘇らせる

後は自然に任せます。多様な生き物が増え、生態系豊かな森が形成されます。

ドングリなど実のなる木を植えますから、鳥や動物たちが増えます。花には昆虫がやってきて、川の魚のえさも増えます。保水力も増し、死んだ水から生きた水に変わります。腐葉土にしみこんだ水は栄養分豊かな水となり、都市の飲料水は、おいしく命を育む水となり、海をも蘇えらせ魚が増えます。

ダイナミックな自然の営み 生態系を蘇らせよう！

行事参加の申し込み

行事に参加される場合、なるべく事前に事務局まで、お申し込みください。電話、ファックス、e-mail いずれの方法でも結構です。ファックスご利用の場合は、この用紙を使って、参加する箇所に をつけ、お送りください。原則として、各自現地集合とします。バスを用意する時は、あらためて連絡します。お問い合わせは、事務局まで。

NPO森を再生する会総会	
平成16年4月22日(木) 7PM	

植樹(段戸・斎藤和彦氏宅10AM集合)	
4月4日(日)	
6月5日(土)	
6月12日(土)	
9月26日(日)	
10月23日(土)	

伐採・下刈り			
(段戸・斎藤和彦氏宅10AM集合)			
1/25		6/27	
2/29		7/25	
3/28		8/22	
4/25		9/26	
5/23		10/24	

6月27日、7月25日、8月22日は、下刈り作業を優先します。

氏名	
住所	〒
電話	
ファックス	
E-mail	

申し込み先 事務局長 榊原和久 〒445-0865 西尾市本町30番地

Tel : 0563-54-1018

FAX : 0563-54-1021

E-mail : emtown2002@ybb.ne.jp